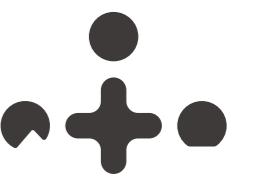




三陸国際芸 術祭 2015

8/4(火) – 10/18(日)
輝く糸で編まれた漂泊の舟、辿り着くは祭りの港。

三陸と呼ばれる宮城から青森までの東北沿岸地域。縄文時代から先祖は、魚や獣、草木を探って豊かで厳しい自然を頂きながら生活し、独自の文化を生み出してきました。そのひとつが郷土芸能。人が暮らすところに祭りがあり、春夏秋冬舞い踊りながら、祈りと希望を唱え続けてきました。三陸国際芸術祭では郷土芸能に触れ合い、自然と人の豊かさを祝うプログラムの中で、出演者や観客、三陸の人々が交流し共に祝いあいたいと考えています。またアジアにも、暮らしの中から生まれた郷土芸能と共に生きる人々がいます。災害や紛争から芸能の力によって立ち上がってきた、鮮烈な踊りを披露します。



三陸国際芸術祭
SANRIKU INTERNATIONAL ART FESTIVAL

a
8/4-9 主催プログラム ★

イッセー尾形の演出家・森田雄三と三陸の人たちで芝居を創る@住田町

昨年は大船渡市で実施された演劇公演。公募により集まった出演者たちのナマの人生が、森田雄三氏の演出により素晴らしい舞台作品となりました。今年は稽古および発表公演の会場を住田町に移し、住田町にお住まいの方々とも一緒に作品作りに取り組みます。

日時：〈稽古日〉8月4日(火)～7日(金)
〈公演日時〉8月8日(土)19時、9日(日)11時
会場：住田町役場町民ホール
住所：岩手県気仙郡住田町世田米字川向88-1
住田町役場内

b
8/16 連携プログラム
第41回三陸港まつり

震災の年以降も“鎮魂の祈りと復興の大祈願”をスローガンに、開催を続けてきた三陸港まつり。三陸の住民による手作りのお祭りで、東北の郷土芸能と海の幸を堪能してください。

日時：8月16日(日)
会場：大船渡市立三陸公民館駐車場
住所：岩手県大船渡市三陸町越喜来字前田36-1

出演：会津鶴ヶ城太鼓(会津若松市)、黒岩鬼舞(北上市)、川原鎧剣舞(大船渡市)、浦浜念仏剣舞(大船渡市)、金津流浦浜獅子躍(大船渡市)

c
8/29, 30 主催プログラム
100年後のまつりの支度

昔の人の暮らしと、昔から続けられてきたまつりの意味を考える。今の人何を思ってどんな風に暮らしているのか、そこから未来のまつりを考える。実験的な断片として試しに

f
やってみる、しつらえを整えてみる。まつりというか儀式というか。それらの過程や跡が見られるようないわゆるプロジェクト展示や、もしかしたらツアーナのかな。

日時：8月29日(土)、30日(日)
会場：宮城県気仙沼市唐桑町野外会場 など

アーティスト：齊藤道有(気仙沼市)
振付家／ダンサー：トチアキタイヨウ(東京)

d
9/12, 13 主催プログラム

三陸の民家で味わうふるさとの芸能と食

三陸の漁師町を歩いていると、立派な木造住宅を数多く目にします。それらを建てたのは、気仙大工と呼ばれる職人集団です。陸前高田市にある箱根山の中腹に、職人の高度な技を知ることができる伝承館として建てられた民家で、郷土芸能と地元の料理を味わいます。

日時：9月12日(土)、13日(日)
会場：気仙大工左官伝承館
住所：岩手県陸前高田市小友町茗荷1-237

出演：浦浜念仏剣舞(大船渡市)、柿内沢鹿踊・大股神楽(住田町)、金澤神楽(大槌町)、広田御祝い・生出神楽(陸前高田市)、Komunitas Al-Hayah (インドネシア)他

e
9/20, 21 連携プログラム ★

大槌祭り

鹿子踊、虎舞、太神楽、七福神などが数団体ずつ、神輿とともに練り歩き神社へと向かう。この日は街中が祭り一色に塗り替わる。祭りの為に1年をかけた熱気が昇華する瞬間です。

日時：9月20日(日)、21日(月・祝)
会場：岩手県上閉伊郡大槌町一体

g
9/21, 22 主催プログラム ★

人と自然の生命を祝う—リズムと仮面が繋ぐアジア

松林を抜けると、眼下には太古からの地層が織りなす巨岩が海岸線を描き出し、白い飛沫と轟音を生み出し、消えていく。リアス海岸の三陸復興国立公園に、伝統と現代、東北とアジアが生み出したリズムや仮面、身体表現が打ち寄せます。海が繋ぐ、交流と理解のためのプログラムも充実させました。

日時：9月21日(月・祝)、22日(火・祝)
会場：岩手県大船渡市 基石海岸キャンプ場
(雨天時：大船渡市民体育館)

出演：
郷土芸能：白澤鹿子踊(大槌町)、金津流獅子躍大群舞(奥州市)、大船渡市、花巻市、大崎市、横浜市)、北上翔南高等学校鬼剣舞部(北上市)、気仙町けんか七夕太鼓(陸前高田市)、碁石七福神(大船渡市)、小鶴神止り七福神舞(気仙沼市)、Komunitas Al-Hayah (インドネシア)、Amrita Performing Arts (カンボジア)

ビッグバンド：サンド・パイバース・オーケストラ(大船渡市)

コミュニティダンス：ディレクション／小林あや(イギリス)、後藤みき(東京)、山田珠実(京都)
仙台ダンスクリエイション：振付／村本すみれ(東京)

g
9/23 主催プログラム

「三陸とアジアの未来に向けて集う」

三陸とアジアの芸能が一挙に集う三陸国際芸術祭。フィナーレでは一同に会し芸能やダンスなどによってどのような未来を築くことができるか、地元の方々とも語り合い、芸を披露しあう機会を持ちたいと思います。

日時：9月23日(水・祝)
会場：陸前高田市コミュニティホール
住所：岩手県陸前高田市高田町字柄ヶ沢210-3

h
10/17, 18 連携プログラム

大船渡復興 東北三大まつり～東北と世界を結ぶ祭博～

第5回目の節目を迎える今年度は、海外の団体を招聘し国際色豊かな祭りとして刷新される大船渡復興東北三大祭り。大船渡市盛町のストリートが芸能で彩られます。

日時：10月17日(土)、18日(日)
会場：岩手県大船渡市盛町一体

出演：竿燈(秋田市)、盛岡さんさ踊り(盛岡市)、仙臺すずめ踊り(仙台市)、花笠踊り(山形市)、門中組虎舞(大船渡市)、トプロン農楽団(韓国)、鹿神樂(東京)、ほか気仙地域より郷土芸能など

東北とアジアを芸能で結ぶプロジェクト

「習いに行くぜ！東北へ、アジアへ！！」

主催：国際交流基金アジアセンター、NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)

本年より年間を通して、東北の郷土芸能とアジアの芸能の交流プログラムを実施します。アジアの芸能の招聘、東北の芸能のアジアへの派遣、新しいアジアの芸能の創出、伝統と現代を結びつけること、調査・研究・アーカイブ、学術交流など、様々な角度からアジアと東北の芸能を結び、新しい道を創り出します。三陸国際芸術祭の期間中も、数多くの交流プログラムを計画しています。

募集します！

★マークの付いているプログラムは、出演者・団体を募集します！ 詳しくはサンフェスウェブサイト <http://sanfes.com> をご覧ください。

お問合せ、ご予約

宮城仙台高速バスセンター(9:00-19:00)
022-261-5333

その他のアクセスは

<http://sanfes.com>をご覧ください。

平成27年度文化庁国際芸術交流支援事業

主催／企画制作：NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)

共催：(公社)全日本郷土芸能協会、みんなのしるし合同会社

後援：岩手県、大槌町、大船渡市、住田町、住田町教育委員会、陸前高田市、大船渡市郷土芸能協会、(一社)大船渡青年会議所、IBC岩手放送、岩手朝日テレビ、岩手日報社、河北新報社、三陸新報社、テレビ岩手、東海新報社、めんこいテレビ、岩手県立大学、岩手大学

助成：(公社)企業メセナ協議会GBFund(東日本大震災芸術・文化による復興支援ファンド)

協賛：アサヒビール株式会社、株式会社リプロ

協力：トヨタ自動車株式会社、文化芸術による復興推進コンソーシアム、泉田家式番蔵、FMねまらいん、カリクス大船渡ベース、碁石海岸レストハウス、さんさんの会、(一社)三陸国際交流協会、Sumita音楽サークル「音蔵」、遠野まごころネット、来渡ハウス

プロデューサー：佐東範一(JCDN)

プログラムディレクター：北川麻理(JCDN)、前川十朗(みんなのしるし合同会社)

コーディネーター：郷土芸能／小岩秀太郎((公社)全日本郷土芸能協会)、古水力(大船渡市郷土芸能協会副会長)、仙台ダンスクリエイション／千田優太(ダンス幼稚園実行委員会、ARCT)、コミュニティダンス／神前沙織(JCDN)

フェスティバルアドバイザー：稲田奈緒美(舞踊研究・批評)、加藤種男((公社)企業メセナ協議会専務理事)、桜井俊作(文化芸術による復興推進コンソーシアム東京事務所長)、吉木光宏(ニッセイ基礎研究所研究理事)

* あいうえお順

